

在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和5年7月～9月）

1 治安情勢

(1) 一般犯罪

スマトラ島内、特に都市部において、夜間、複数のバイク集団が道路を歩行中の被害者を取り囲み、スマートフォン、財布、カバンなどの所持品を脅し取る強盗事件が引き続き発生しているため、少人数・夜間の外出を避けるようにしてください。

(2) テロ情勢

現在、具体的な脅威情報には接していませんが、スマトラ島内において、テロリストが断続的に逮捕されています。

引き続き、当地においてテロの標的とされている軍・警察関連施設及び宗教施設には、不必要に近寄らないようにするとともに、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努める必要があります。

(3) デモ情報

ア 北スマトラ州

- ① 8月8日及び9日、北スマトラ州政府庁舎、北スマトラ州労働局、プルタミナ北スマトラ州事務所付近において、労働団体に所属する約3,000人がオムニバス雇用創出法の廃止などを求めてデモを行いました。
- ② 8月31日、在メダン中国総領事館付近において、学生団体に所属する約250人が中国のウイグル族政策などに抗議するデモを行いました。
- ③ 9月15日、メダン市内の英雄墓地付近において、市民団体に所属する約1,000人が、リアウ諸島州レンパン島の住民が立ち退きを求められている開発事業に抗議するデモを行いました。

イ リアウ諸島州

- ① 8月23日、バタム事業庁付近において、レンパン島住民約1,000人が立ち退きを求められている開発事業に抗議するデモを行いました。
- ② 9月7日、第四バレラン橋（バタム島・レンパン島・ガラン島を結ぶ橋）付近において、レンパン島住民が上記イ①記載の理由でデモを行い治安機関との衝突に発展し、多数の逮捕者・負傷者が出ました。

ウ 西スマトラ州

7月31日から8月4日までの5日間、西スマトラ州政府庁舎付近において、同州政府が進めているアイル・バンギス地域の土地開発に伴い、住民が同地域に自生するゴムの木の樹液採取などを禁止された政策に抗議するため、同住民約1,000人がデモを行い、多数の逮捕者を出しました。

来年に大統領選挙を控え、労働団体や学生団体などが自らの主張を政治に反映させるため、抗議デモを活発化させる傾向にあります。デモが発生した場合、参加者の一部が暴徒化する可能性があるため付近には近づかないようにしてください。

(4) 災害

シナブン山の噴火警戒レベルは2（絶え間なく活動中）です。

引き続き、山頂付近には崩れやすい溶岩が堆積しており、土石流等の発生の危険性があることから、山頂の半径3キロメートルから4.5キロメートルには近づかないでください。

2 対日感情・日本企業の安全に関する諸問題

日系企業を含め土地の所有権を巡る住民デモが頻発しています。

対日感情が悪化しているとの情報はありますが、今後も引き続き、抗議デモには注意してください。

3 正副大統領選挙及び議会選挙の主な日程

- ・ 2023年11月28日 大統領選挙キャンペーン開始
- ・ 2024年2月10日 大統領選挙キャンペーン終了
- ・ 同年2月14日 投票日
- ・ 同年6月26日 大統領選挙決戦投票日（1回目の投票で過半数の得票数を得る候補がいなかった場合の投票）
- ・ 同年10月20日 大統領就任式
- ・ 同年11月27日 地方首長選挙・地方議会選挙投票日